



県議選が告示された一日、東三河地方では五つの選挙区に二十人が立候補。定数五を九人で争う豊橋市をはじめ、各地で激戦となった。各候補は選挙事務所前や街頭で、東日本大震災を受けて新たな防災対策の必要性を訴えたり、公約に掲げた地域振興の充実をアピールしたりした。

(東三河統一選取材班)

## 県議選スタート

**渡会克明さん**

大震災で大津波や原発など新たな問題が出ました。私は河川・海岸の防災対策や津波のハザードマップ、避難所の耐震化や備蓄の見直しを進めていきたい。議会改革では議員定数を削減したい。福祉の充実にも努める。